

### 新しい文化の誕生

今からおよそ2千4百年前、私たちの祖先は大きな歴史の変動期に直面していました。それまでの2、3万年前には山麓・丘陵とか台地の上で果実を取り、狩りを行い、あるいは海や川で漁に励むいわば自然に身をまかせながら自然の営みに順じて毎日を送っていました。しかし、こうした生活は自然環境の変化、例えば気候の変化で、植生が変わったりすることで生活の基盤が根底から脅かされるため、時には飢えに泣き、食物を求めて放浪を強いられたことがしばしばあったと考えられます。実際、松浦市内の遺跡でさえ、縄文時代の各時期全般にわたっての遺物が間断なく発見される所はなく、ぼつんぼつんと生活の痕がとだえるものがほとんどです。生活がすごく不安定であつたことがうかがえます。

こうした状態での暮らしを行ってきた人々が、突如、大陸との頻繁な交渉を始めるようになり、従来とはまったく異なった生活様式を展開させるに至ったのです。食糧採集段階から食料生産段階への変革は、日本列島に人類が登場して以来最大のもので、まさに「農業革命」の名に値します。この「農業革命」の文化を「弥生文化」、その文化の時代を「弥生時代」、その文化の土器を「弥生土器」、そしてその文化の担い手を「弥生人」とよびます。



▶御厨町池田遺跡出土の弥生土器

### ジェシカ先生 (アメリカ出身)



## Thanksgiving in Japan 日本での感謝祭

11月22日、ALTの仲間達と集まって、感謝祭のお祝いをしました。

感謝祭 (Thanksgiving) は、毎年11月の第4木曜日に行われるアメリカの祭りです、祝日になります。

1620年、メイフラワー号に乗った清教徒たちがマサチューセッツの海岸にたどり着きましたが、未開の地の冬の寒さで半数の人々が命を落としました。残った彼らをアメリカ先住民 (アメリカインディアン) が助け、農作物の栽培方法などを伝授。翌年、農作物を多く収穫できた感謝の気持ちを込め、彼らが先住民を招いて祝宴を催したのが、感謝祭の始まりとされています。

アメリカでは、感謝祭当日、日本の正月や盆のように家族が一同に集まり、七面鳥の丸焼きなどを食べます。今年は、日本で七面鳥を見つけることができなかったため、鶏肉などを食べました。通常は衣装を身に着けたりしないのですが、アメリカ人のALTたちは清教徒、オーストラリアやカナダ出身のALTはインディアンにふんしました。私にとって、おいしいごちそうを食べ、すてきな仲間と過ごした日本での感謝祭でした。

